

なよろ



名寄市観光キャラクター
「なよろ」



令和4年
第2回定例会
第65号
令和4年8月1日
発行



名寄市議会ホームページ

- 定例会で決まったこと 2
- 議決結果・意見書 3
- 代表質問・議会日誌 4～5
- 一般質問に10人（6月21～23日） 6～10
- 各常任委員会活動報告 11～13
- 政務活動費概要報告・政務活動報告 14
- 総務文教常任委員会視察報告 15
- きぼう（高橋 渉さん、梅村 スミエさん） 16

題字 名寄産業高等学校 尾田 暢弘(おだのぶひろ)さん

令和4年 第2回定例会 6月6日～6月23日

▽肉付予算約1億8600万円追加で一般会計予算は総額約240億2500万円に

▽資材高騰で入札不成立のため、智恵文小中学校整備事業及び幼保連携認定こども園等整備事業(R4、R5)の追加補正が1億4000万円

▽令和4年第2回定例会は、6月6日から6月23日までの18日間の会期で開会。14件の議案を審議

▽開会初日に加藤市長から市政執行方針、小野教育長から教育行政執行方針が述べられた

▽議案審議では、「名寄市ピヤシリスキー場条例の一部改正について」を委員会付託し、委員長報告のとおり原案可決

▽20日から23日には、各会派を代表した議員の代表質問と一般質問では、10人の議員が市政の課題について質問

主な条例の一部改正

☆名寄市ピヤシリスキー場条例の一部改正について

ピヤシリススキー場リフト券及びびなよる温泉サンピラー宿泊料の上限額を引き上げるため、条例の一部を改正しました。

主な補正予算

☆施設介護サービス事業費
介護サービスの需要増に伴

い、介護従事者の確保がさらに困難になることが見込まれることから、「特定技能制度」を活用した外国人材の受入れを進めるため委託料5685千円を追加しました。

☆低所得の子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分及びその他世帯分)支給事業費

給付を行うため特別給付金

給付を行うため特別給付金

給付を行うため特別給付金

給付を行うため特別給付金

のほか、支給に関わる事務費を2739万円を追加しました。

☆商店街等活性化関連補助金
中小企業振興条例に基づく補助の見直しを図り、事業者ニーズに即した補助金を交付するため1240万円を追加しました。

☆名寄中学校整備事業費

老朽化が進んでいる名寄中学校を改築するため設計委託料4610万8千円を追加しました。

人事案件

◆人権擁護委員

- 村上 勝 浩氏(再任)
名寄市西3条北5丁目
- 田邊 俊 昭氏(新任)
名寄市西6条南9丁目

臨時会を開きました

令和4年第2回臨時会が5月13日に開催され、新型コロナウイルス感染症やコストの増加等により影響を受けている市内事業者に対する応援給付金を盛り込む令和4年度名寄市一般会計補正予算(第2号)などについて審議し、原案のとおり可決しました。

人事案件

- ◆名寄市選挙管理委員会委員
岩 橋 明 教氏(新任)
名寄市風連町字瑞生
- 岩 崎 隆氏(再任)
名寄市字智恵文12線
- 倉 本 邦 子氏(再任)
名寄市西5条南3丁目
- 高 儀 日出男氏(再任)
名寄市風連町本町
- ◆同補充員
高 橋 光 男氏(再任)
名寄市西5条南11丁目
- 明 石 まゆみ氏(再任)
名寄市風連町西町
- 今 田 恭 嗣氏(再任)
名寄市西7条北1丁目
- 川 邊 勝 重氏(再任)
名寄市字智恵文18線
- ◆教育委員会教育長
岸 小夜子氏(新任)
旭川市旭神3条4丁目
- ◆名寄市監査委員
岡 川 進氏(新任)
名寄市風連町新生町
- ◆名寄市外2組合公平委員会委員
益 塚 敏氏(再任)
名寄市風連町仲町
- 定 木 孝 憲氏(再任)
名寄市東1条北2丁目
- 日根野 美沙子氏(新任)
名寄市風連町字中央
- ◆名寄市固定資産評価員
廣 嶋 淳 一氏(新任)
名寄市風連町西町

令和4年 第2回名寄市議会臨時会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	名寄市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第2号	名寄市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	名寄市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	名寄市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第5号	専決処分した事件の承認について（名寄市税条例等の一部改正について）	承認
議案第6号	専決処分した事件の承認について（名寄市都市計画税条例の一部改正について）	承認
議案第7号	専決処分した事件の承認について（名寄市国民健康保険税条例の一部改正について）	承認
議案第8号	専決処分した事件の承認について（名寄市介護保険条例の一部改正について）	承認
議案第9号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第10号	令和4年度名寄市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第11号	令和4年度名寄市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第12号	名寄市教育委員会教育長の任命について	同意
議案第13号	名寄市監査委員の選任について	同意
議案第14号	名寄市外2組合公平委員会委員の選任について	同意
議案第15号	名寄市固定資産評価員の選任について	同意

令和4年 第2回名寄市議会定例会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	名寄市特別職の非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第2号	名寄市ピヤシリスキー場条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	北海道市町村職員退職手当組合理約の変更について	原案可決
議案第4号	財産の取得について	原案可決
議案第5号	専決処分した事件の承認について（令和3年度名寄市一般会計補正予算（第12号））	承認
議案第6号	専決処分した事件の承認について（令和3年度名寄市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号））	承認
議案第7号	専決処分した事件の承認について（令和3年度名寄市立大学特別会計補正予算（第3号））	承認
議案第8号	令和4年度名寄市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第9号	令和4年度名寄市一般会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第10号	令和4年度名寄市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第11号	令和4年度名寄市食肉センター事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第12号	令和4年度名寄市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第13号	財産の取得について	原案可決
議案第14号	令和4年度名寄市一般会計補正予算（第5号）	原案可決

第2回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

- ◎2022年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- ◎地方財政の充実・強化に関する意見書
- ◎義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
- ◎物価高騰に伴う悪徳商法や便乗値上げを許さない意見書
- ◎森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます

加藤市政4期目の基本政策



市政クラブ
山田 典幸 議員

直面する行政課題への対応

問 人口減少が進む中、減少抑制のための取り組みについての考え方を伺う。

答 生産年齢人口の減少により、出生率の向上だけでは、出生数の大幅な増加は見込めない状況であり、これまでの取り組みに加えて、社会減抑制に向けた取り組みを重視する必要があると認識している。雇用機会の拡大に向けた企業支援や企業誘致など産業創出に向け取り組みを推進している。

地域経済の活性化に向けて

問 地域通貨事業を民間との協働で推進し、地域経済の好循環を作ると所信表明などで述べられていたが、検討状況や取り組みの詳細について伺

う。

答 電子地域通貨の導入により、地域外への経済流出を抑制し、地域経済の循環を促進するほか、地域経済活動のデータ化・可視化が図られ、新たな経済対策の立案や展開が期待される。主体となる地元経済団体と協議を進め、行政として支援体制を構築し導入に向け検討を進めていく。

冬季スポーツ拠点化に向けて

問 2030冬季五輪札幌誘致への活動に積極的にかかわり、競技施設改修について検討するとしているが、考え方について伺う。

答 札幌誘致が実現すれば、本市は冬季スポーツ施設が充実していることから、事前合宿などの受入れ支援の可能性

があると考えている。阿部特別参与とともに、誘致活動の協力関係について話し合いをさせていた。だいたいの経過もあり、ソフト・ハード両面で協力体制を整えていきたいと考えている。

教育行政について

問 令和6年度に義務教育学校として開校する、智恵文小中学校において、期待される教育的効果や教育長が望む事は。

答 義務教育学校は特例で新たな教科の設置が可能であり、地域の特色や特認校としての強みをいかなく発揮できると捉えている。名寄市全域の保護者の期待に応えられる、特色ある学校として発展してほしいと願っている。

他の質問

新型コロナウイルスへの今後の対応、保健医療福祉行政について、農業の振興について



雇用の拡大と産業の活性化で生産年齢人口の減少に歯止めを

議会日誌 5~7月

- 5/6 各会派代表者会議
- 5/11 議会運営委員会
総務文教常任委員会
- 5/13 第2回臨時会
- 5/16 全国自治体病院経営都市議会
協議会理事会・定期総会(東京都)
- 5/24 経済建設常任委員会
- 5/24~25 全国市議会議長会理事会・
定期総会(東京都)
- 5/25 総務文教常任委員会

- 5/26 市民福祉常任委員会
- 5/30 各会派代表者会議
- 6/2 上川北部市町村議会議長会
(美深町)
- 6/3 議会運営委員会
総務文教常任委員会
- 6/6 議会報特別委員会
各会派代表者会議
- 6/10 議会運営委員会
第2回定例会開会
議員協議会
経済建設常任委員会

- 6/14 経済建設常任委員会
- 6/20 各会派代表者会議
- 6/21 議会報特別委員会
- 6/22 議会運営委員会
- 6/23 各会派代表者会議
議会運営委員会
第2回定例会閉会
- 6/30 議会報特別委員会
議会運営委員会
- 7/7 議会報特別委員会
- 7/12 全国市議会議長会基地協議会
理事会(東京都)

代表質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

夢と希望の持てる名寄市



市民ネット

高野 美枝子 議員



問 令和4年度市政執行方針について

答 名寄市の財政は交付税に大きく依存する財政構造。今後人口減少、高齢化により社会保障関連経費の増加が予想される。老朽施設、大型事業等を抱えた今後の財政を伺う。

問 後期計画では、多額の費用を要する老朽化施設の改築事業が見込まれ、財政規律の順守は困難と想定している。市民の安全安心な暮らしを支えていくには国・道の特定財源の確保、既存事業の見直し、事業の選択と集中を徹底し、持続可能な財政運営に努める。

問 観光行政について

答 この地域には素晴らしい自然環境がある。「ウイズコロナ」「アフターコロナ」「ポストコロナ」を見据えた名寄市観光振興計画（第2次）について伺う。

問 本市にふさわしい11項目の観光振興の方向性を掲げ、その中でも「原生の自然を最大限に活用したアウトドア観光の推進」「スポーツツーリズムの推進」「観光振興に資する人材の発掘・育成」の3つを重点項目として定め進めていく。

問 名寄市立大学について

答 助産師課程、大学院設置、独立行政法人化について伺う。

問 助産師課程は令和5年度からの導入に向け準備中。大学院は課題多数。設置検討会意見懇談会を実施し準備中。独法化は今まで以上に深い議論が必要。

問 教育行政について

答 地域学校協働本部の内容と地域学校協働活動人材バンクの登録状況を伺う。

問 コミュニティ・スクールに地域学校協働本部を設置し

て地域コーディネーターを配置し、地域学校協働活動を推進してきた。「地域とともにある学校づくり」の更なる充実を図ることが出来るよう各学校の地域学校協働本部の活動を支援していく。人材バンクは広く人材を発掘し、指導者または支援者を紹介。地域学校協働活動や部活動を支援するため、今年度新たに「NAYOROSスタイル部活動改革推進事業」を設置。登録は22人。学校、地域に制度を周知し広く登録を求め、地域と学校の連携を進め、地域の特色を生かした地域学校協働を展開する。

他の質問 総合計画、恒久平和、名寄市の課題、コロナ対応、高齢者施策、子育て支援、地域医療、薬用植物、農村・農業振興、小中学校整備、高等学校の充実



地域の宝 名寄市立大学

**タブレット端末
研修会**
【第1回】5月13日
【第2回】5月31日

今定例会から、会議でのタブレット端末（iPad）の利用が始まりました。議員の資質向上やペーパーレスなどの目的で、議員ひとり1台が貸与されています。これまで2回にわたり研修会を行い、1回目ではタブレット端末の基本的な使い方、2回目では資料閲覧用アプリの使い方を学びました。幅広い世代で構成されている市議会議員です。個々の習熟度の差も大きく、普段から慣れ親しんでいる若手議員が先輩議員に指導する姿が見られました。議員活動の場での活用はもちろん、過去資料の容易な検索・閲覧が可能になることで、これからの本会議や委員会などの市職員とのやりとり、一層の緊張感を持って臨めます。



議員相互の研鑽を積むことで資質向上を狙う

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます



豊かなまちづくりに向けて

市政クラブ 東川孝義 議員

下水道事業経営戦略は

問 下水道事業経営戦略の計画策定時と地方公営企業法が適用されてからの、進捗状況は。老朽化施設の現状と今後の課題は。

答 市内全域の下水道と水洗化普及拡大はおおむね完了し、下水道経営戦略は、ほぼ計画通りに進んでいる。一方、下水道管渠延長の約4割が耐用年数50年を経過している。更新事業は一定の金額で計画をしているが、事業を進めていく上で、国の交付金が大きな割合を占めており「有利な補助メニュー」で効果的に進めていく。

魅力ある大学運営は

問 コロナ禍におけるオンライン授業、学生へのサポート等大学運営の各種取り組みは、大学院設置の具体的な内容と独立行政法人化への取り組みは。

答 授業は可能な限り対面授



魅力ある大学運営に向けて新たな施策が期待される

業を基本とし、履修科目によつては、教室を追加し、換気システムが設置されている教室での対応を行っている。学生生活のサポートは、健康サポートセンターで日々対応している。大学院設置に向けては、文科省への申請ハードルが高いため、専門的な知見を持つ方にアドバイザーとして指導を頂きながら、準備を進めている。独立行政法人化に向けては、道北の「知の拠点」として、さらに魅力ある大学として存在し続けることが出来るか検討を進める。



環境美化で安全安心を

市民ネット 山崎真由美 議員

空き家対策で地域の安全を

問 管理不全の空き家対策を強化し、地域の安全を守るための取り組みは如何に。また、管理不全になる前に、空き家解体への助成の考えは。

答 帰属する所有者の管理が原則だが、危険が迫っている特定空き家については、所有者と協調して解体の取り組みを行っている。解体への助成は、建て替えを前提として、「ずっとスマイル応援事業」の見直しで議論の切り口とする。

問 ごみのポイ捨てゼロを目指す条例制定の考えは。

答 道内38%の自治体で制定されており、条例制定による効果など、調査研究していく。

地域に浸透した施策展開を

問 体育協会、スポーツ協会とNスポーツコミッションの発展的統合を目指す、持続的で幅広いスポーツ振興とは。

答 3月に協会の機能を有す



夏草が生い茂る空き家、適切な管理が求められる

る新法人設立の素案を提案した。組織統合後は、地域経済とスポーツ振興を循環させるスポーツの地域商社型の組織体を目指している。

問 スポーツ施策における公益性をどの様に考えるか。

答 非営利事業として、ジュニア育成、フレイル予防などの健康づくり、生涯スポーツの振興に庁内連携して取り組む。

他の質問 18歳成人年齢の引き下げについて

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



住みつづけたいまちづくり

市政クラブ

遠藤 隆男 議員

保育サービスの充実について

問 保育士等不足の現状と影響について伺う。

答 本市公立3保育所における国の配置基準では、32名必要となるが、現在41名の常勤保育士を配置しており、充足率は128%であるが、担任の複数配置や障がいのある児童に対しての加配などが必要のため、少なくともあと2名の常勤保育士が必要である。3年間の保育士の採用と退職の状況は、採用8名、退職4名で、4名増となっている。

また、待機児童数については、本年4月1日で、0歳と1歳児がそれぞれ1名、2歳児が2名、特定の保育所を希望している潜在的待機児童は2歳児が1名である。延長保育と一時保育については、専任の職員を配置しており、また、民間で実施している病後児保育についても、看護師免許を保有している方を確保してお

り、影響はないものと考えている。
問 夜間保育・休日保育の現状について伺う。

答 保育士の確保など保育体制の整備が必要であり、現状では保育士の確保が難しい状況にあり、認定こども園など保育施設における夜間保育・休日保育の実施は難しいと認識している。

他の質問 保育士等人材確保の対策と取り組み、高齢者福祉施策の推進について



「みんなが安心できる」体制づくりを



目指せ！自由な部活動！！

市政クラブ

今村 芳彦 議員

部活動改革、始動

問 NAYOROSスタイル部活動改革推進事業とは。

答 教職員の負担低減と、生徒の活動機会の確保を両輪とした改革で、部活動指導員の配置や、学校間バスの運行、外部専門家からのオンライン指導、大会出場バス移動助成を行うなど、学校と地域の実情を踏まえた新たな取り組みになる。

新規事業、課題も

問 今年度スタートの事業であり、課題と対策は。

答 現段階では周知不足が大きな課題。学校、保護者、地域や各種スポーツ団体へ事業説明に努めたい。

問 指導員の確保に向けた取り組みは。

答 地域人材バンクに登録をいただいた方から、各学校長が依頼する。体罰防止や服務規律など研修を行い、指導員としての見識を深める。

問 他市町村との合同部活動におけるバス運行の拡充は。

答 対応が必要なものについて協議する。

将来あるべき姿とは

問 誰のための事業なのか。

答 子供たちが、将来にわたって持続可能なスポーツに親しむことが出来るために、この改革がある。

問 文化系部活動や少年団活動、冬のスポーツに向けた取り組みは。

答 中学校部活動だけに留まらず、広く見通したなかで活動の場と指導体制の構築を目指す。

他の質問 公立病院経営強化プラン策定に向けて



好きなスポーツに取り組めるチャンス！

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます



インボイス制度について

市民ネット 富岡達彦 議員

免税事業者の把握について

問 年間売り上げが1000万円以下で、影響を受ける市内小規模免税事業者の把握は、また、事業者への周知は。

答 正確な数字は把握できないが一定数いると思われる。当該事業者の不安や混乱が生じないように、市として広報周知に努めていく。

企業会計に係るインボイス

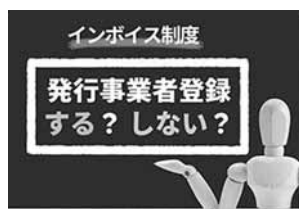
問 企業会計にかかわって、免税事業者に対してインボイスの提出を求めていくのか。

答 正確な把握は難しいが、取引の内容や規模に応じて、適切な調整と判断をしていく。

地域循環経済への影響は

問 市内経済の活性化、地域循環経済を推進していく上で、の影響と、総合計画後期基本計画など、持続可能なまちづくりへの影響に対する考えは。

答 制度導入がそれらに影響を及ぼすことのないよう、支援メニューの周知、経営基盤



制度の仕組みをしっかりと知っておくことが大切です

の強化、地域商業の発展に向けた取り組みを推進する。計画への影響については、幅広く意見を伺いながら、中長期的展望を検討していく。

問 国税の制度ではあるが、市内事業者への影響を鑑み、地域循環経済活性化の仕組みをブラッシュアップしていくためにも、インボイス制度を検証し意見を集約して制度見直しを国に求めていくべきでは。

答 周辺市町村や、市長会などを通じて状況を検証し、厳しい状況になるようであれば相応に考えていきたい。

他の質問 市民と愛玩動物との共生について



公共施設整備とまちづくり

市民ネット 倉澤宏 議員

図書館整備のスケジュールは

問 公共施設等再配置計画で示された5年後までの計画の軸とした図書館は今何年の完成を目指しているのか。

答 明確にいつまでに整備するかは決まっていない。今年度中に市民議論を終わらせ、建設手法を含め来年度に施設イメージを示したい。

学校施設整備の進め方は

問 改築の方針が示された名寄中学校も含め学校施設の配置場所は市民、議会と議論を行う必要があると考えるが。

答 名寄中学校は現地建替えで進めていく。今後の学校施設の配置については児童生徒数の推移を見ながら適正配置に努める。

今後の保育所整備の方針は

問 西・東保育所統合後の新施設の配置場所として、旧中央保育所周辺市有地の利用と学童保育所の併設の考えは。

答 配置場所は候補地の一つ



名寄市公共施設等再配置計画で図書館等の施設配置が検討されているJR名寄駅前通り

として、保育所と学童保育の合築は補助メニューも含め検討する。

問 会計年度任用職員処遇改善を
手当の支給を含め、必要な改正と措置を国に対して市長会等を通じ要請いただけませんか。

答 他の自治体と状況を確認し合いながら、必要に応じて国に対する要請を検討していく。

※ブラッシュアップ：磨きをかけてさらによくする
※インボイス：適格請求書

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



子ども・子育て支援の充実を

市政クラブ

五十嵐 いがらし

千 ち

絵 え
議員

母子手帳のより良い活用を

問 母子保健事業の効率化を図るためにも母子手帳のアプリ利用等、DX化を進めていく必要があると考えるが見解を伺う。また、母親の改姓による母子手帳の再発行等の対応は。

答 厚生労働省が母子健康手帳の在り方で検討会を立ち上げ、電子化、手帳の役割、あるいは多胎児、低出生体重児、障がいのある子ども、外国人家庭等、多様性に配慮した情報や父親の育児を推進する方策について等を検討する予定である。現時点ではその結果を注視していく。また改姓され再発行を希望する場合は、妊娠中の経過や成長記録、予防接種、検診の記録など転記が可能なことは最大限行い、再発行の対応をしている。

多様な家族に寄り添う支援を

問 母子家庭や父子家庭、さらには子どもを連れての再婚

によるステップファミリーなど、家族の形は多様化している。子どもの成長する過程において新たな支援が必要になることもあるが、支援体制について伺う。

答 それぞれの抱える問題や悩みも多様化している。子育て中の保護者や子どもの困り感に寄り添いながら、解決に向け、ともに悩みながらきめ細やかな支援を続け、安心できる子育て環境の充実に努める。

他の質問 HPVワクチン接種について



国では母子手帳の電子化すべき情報について年度内に方向性を検討



退任の小野教育長に問う

市民ネット

佐藤 さとう

靖 やすし
議員

11年を振り返って

問 平成23年7月19日、教育長就任あいさつで「子どもたちに生きる力を確実に身につけさせる教育」など3本柱を誓われたが、在任11年を振り返り、自らどう評価されているのか。また、智恵文小の改築で市内小学校はすべてオープンスペース教育となるが、今後、改築・改修する中学校の対応は。名寄高校は来年度から新設校となるが、自らの進むべき道を決められない世代でもある。そのため、普通科志向となっているのが現状だが、教育長が求める「中学生から選ばれる魅力的な新設校」とは。

答 それぞれの課題と向き合い、一定程度成果も挙げることができたと思う。教室型とオープンスペース型双方にメリット、デメリットがあるが、児童生徒にとって安心できる教室空間をつくる。新設校に

は、コミュニティ・スクールの設置が必要。また、単位制を導入することで生徒の多様な興味・関心、進路希望などに応じた主体的な学習も可能となるのが中学生の進路選択においても魅力となることを期待している。

問 旧豊西小学校の環境について

答 閉校当時のままの旧豊西小を見ると、その朽ちていく姿は教育環境上も好ましいものではない。

問 開校記念樹や記念碑は整備して後世に残すべきだが、現状は決して好ましい環境ではない。



閉校時のままの姿の旧豊西小学校

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます



給食費の保護者負担軽減を

公明 高橋伸典 議員

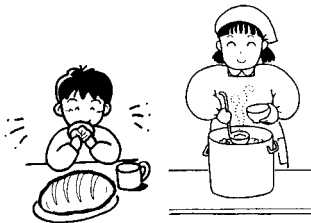
給食費軽減対策の補助金活用

問 新型コロナウイルス感染症の長期化、そして本年2月末以降のロシアのウクライナ戦争により食糧危機のため原材料価格の高騰や4月には政府が輸入小麦の売り渡し価格を17・3%引き上げし、食糧費の値上がりが懸念されている。物価高騰に伴う学校給食費値上げを抑えるため、内閣府が発出した地方創生臨時交付金を活用すべき。

答 学校給食費は学校給食法第11条の規定で学校給食委員会の総会の決議で改正されることから、令和2年4月から改正となつている。新型コロナウイルス感染症や不安定な世界的社会経済情勢などによる急激な経済の変化は想定していなかったが、現在、据え置き対応をしている。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響などにより調味料や加工食品の価格の高騰や品不足の状況と6月の様々な食材の値上げや10月に予定

されている各種食材価格の変動から、献立内容の変更などによる対応のみでは、これまでどおりの栄養バランスや量を保った給食の提供が難しくなるものと想定される。食材価格の動向をしっかりと注視し検証しながらやむを得ない状況となつた場合には、地方創生臨時交付金の活用を視野に、保護者負担の軽減に努める。

他の質問 原油価格・物価高騰等総合緊急対策、子育て世帯の給付支援、生活困窮者世帯の支援、水道・下水道の公共料金の軽減、物流トラック協会の支援



地方創生臨時交付金の活用を



高齢者の支援策について

日本共産党 川村幸栄 議員

高齢者の日常支援強化を

問 高齢になつても、障がいがあつてもこの地を終の住み家として暮らし続けられる支援が必要。自立のための日常的な除雪、草取り、買い物等暮らしの支援が欠かせないが。

答 除雪サービス、屋根雪下ろし助成事業、配食サービス事業、買い物支援については介護認定に関わらず訪問介護事業を利用してると支援が受けられる。

問 道内でも支援の動きが始まつている加齢性難聴者への補聴器購入支援の考えは。

答 65歳以上を超えると難聴者の比率が高まる。耳の聞こえが悪くなることは、認知症の危険因子の一つとも言われている。早期に気づくことが認知予防につながると考える。3月議会で質問のあつた「聞こえのチェックシート」については実施に向け準備中。介護保険納入通知書に同封。

免許返還後の移動支援は。

問 免許返還後の移動支援は。名寄市地域公共交通活性化協議会などと引き続き議論し、既成概念にとらわれない手法など、事業者とも連携しながら望ましい移動手段の確保と維持に努める。

問 名寄市立大学の独法化について公立大学として営利を目的としない学校作りが必要だが。

答 公立大学法人化への移行は様々なシステム、諸規定の制定が必要。本学の積み重ねてきた歴史、気風、教学内容を継承していくシステムも重要。



高齢者にとって少しの段差も危険です(歩道の縁石)

総務文教常任委員会活動報告

第3回委員会報告

4月8日に委員会を開催し、名寄市立大学から北海道福祉分野の人材育成に関する協定、国家試験合格率について説明を受け、質疑を行いました。

総合政策部から公共施設等再配置計画、地域公共交通について説明を受け、質疑を行いました。

第5回委員会報告

5月25日に委員会を開催し、名寄市立大学から在籍状況、入学・志願状況、コミュニティケア教育研究センター、助産師課程の申請について説明を受け、質疑を行いました。

教育部から学校教育情報化推進事業整備状況、高等学校支援金事業、智恵文義務教育学校整備事業、名寄中学校・名寄東中学校施設整備方針、生涯学習・名寄市公民館・智恵文公民館、風連公民館・児童センター・北国博物館、図書館、天文台、学校給食センターについて説明を受け、質疑を行いました。



地域コミュニティ活性化協議会が主体となり運営する「やぐちおもいやりタクシー」(広島市)

総合政策部からふるさと応援寄附記念事業、ゼロカーボン推進事業、王子マテリア名寄工場跡地利用、名寄市総合計画(第2次)、企業版ふるさと納税、定住自立圏構想、公共施設等再配置計画、地域公共交通、移住定住、スポーツ施設整備事業、スポーツ合



少子高齢化に向き合う公共交通の取り組みとして「あいのリスクールバス」について研修を深めました(朝倉市)

宿・推進事業について報告を受け、質疑を行いました。総務部から新個人情報保護法対応、職員定年延長制度導入、DXの推進、防災訓練・防災マップ、名寄市史について説明を受け、質疑を行いました。

所管調査事項「人口減少社会における公共交通」については、20回にわたり協議を行い、4自治体の行政視察を行い、第2回定例会の最終日に料金・デマンド・スクールバス・運行に関する4点と地域コミュニティ単位で利用者住民参加の活性化協議会を設置し、地域住民主体の公共交通の方向性の提言をしました。

議員協議会

6月6日に行われた議員協議会では4件の案件について会議を開きました。

1件目は令和4年度各会計補正予算について説明を受けました。内容としては老朽化が進んでいる名寄中学校の整備事業や「こどもの遊び場にここらんど」の新しい遊具の増設などの案件について説明を受けました。2件目に名寄市総合計画後期基本計画の策定について議論し、3件目では地方創生推進交付金事業の検証について説明を受けました。最後に名寄振興公社の経営状況について説明を受け確認等を行いました。



全議員で政策予算の説明を受ける

市民福祉常任委員会活動報告

新型コロナウイルス感染症対策

北海道の感染状況、名寄市の感染状況及び対策、接種期間や3回目ワクチン接種についての状況、4回目ワクチン接種について報告があり質疑を行いました。

臨時特別給付金

子育て世帯給付状況、住民税非課税世帯の臨時特別交付金について報告があり質疑を行いました。

幼保連携型認定子ども園

実施設計に基づく配置図、付近見取り図、令和4年4月からの建設スケジュールの報告を受け質疑を行いました。

介護人材確保

第3回委員会では少子高齢化による介護ニーズの増加と人員不足が顕著であり現従事者の高齢化や労働者不足など、近い将来に向けて介護人材確保ができる体制の構築が急務

委員会のテーマ

7月に現地視察を行い最終の議論とまとめに向けて調査研究中です。

その他

市民部から令和3年度国民健康保険特別会計決算見込みについて、市税（コンビニ・スマホ決済）等収納状況、高齢者ごみ出し事業、公共施設LED化事業、旧焼却施設解体工事概要について説明を受けました。

健康福祉部から生活保護業務実施方針、成年後見センター、基幹相談支援センター、保育所・幼稚園の入所状況、高齢者支援課、地域包括支援センター、保健センターの報告があり質疑を行いました。

議会運営委員会活動報告

令和4年第2回定例会の日程、議事運営などを協議するため、4月8日から6月23日まで委員会を7回開催しました。

6月3日の委員会では会期を6月6日から6月23日までの18日間とすること、代表質問は6月20日、一般質問は6月21日から23日の3日間として10名の議員が登壇することを確認しました。上程議案は、名寄市特別職の非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正についてなど12件と報告7件諮問1件で、議案第2号の名寄市ピヤシリスキー場条例の一部改正について経済建設常任委員会に会期内で付託することとしました。6月22日の委員会では、付託された第2号に係る委員長報告と定例会最終日の追加議案、財産の取得について他1件の審議を行うことを確認しました。

3年度患者満足度調査結果、手術室改修事業について報告があり質疑を行いました。



地域医療の充実のために

市立総合病院

令和4年度業務体制、令和3年度患者満足度調査結果、手術室改修事業について報告があり質疑を行いました。



焼却施設解体工事

経済建設常任委員会活動報告

名寄市地域経済再生応援金

4月28日に第5回委員会を開催し、新型コロナウイルスに係る経済対策として実施する、名寄市地域経済再生応援金の事業概要について説明を受けました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大、まん延防止等重点措置の適用及び原材料コスト増加の影響を受け、売上げや利益が減少した事業者に対し、要件に応じ応援金を支給する内容で、申請締切を6月30日として実施するとの報告がありました。

令和4年度主要事業について

5月24日の第6回委員会では、令和4年度の各部所管の主要事業について説明を受けました。

経済部から、農務課所管主要事業、農業振興センター事業、耕地林務課所管事業、産業振興課事業、交流推進事業、農業委員会所管事業について、主要な事業の概要について報

告を受けました。

また、建設水道部からは、令和4年度の建設工事発注事業について、令和3年度除排雪事業の実績などについて報告がありました。

名寄市ピヤシリススキー場 条例の一部改正について

6月10日及び14日に委員会を開催し、令和4年第2回定例会で付託された、名寄市ピヤシリススキー場条例の一部改正について審査を行いました。提案内容について説明を受け



先シーズンも多くの市民で賑わったピヤシリススキー場



温浴施設を改修中のなよろ温泉サンピラー

た後、委員から指定管理者の収益的な試算、利用料金の改正による利用者負担などについて質疑があり、説明員からは、今回の改正は利用料金の上限額を改定するものであり、値上げありきではない。宿泊施設は繁忙期、閑散期など季節に応じたセット料金などを柔軟に考え、公社の収益確保に努めることも重要である。市民の利用については、様々な料金設定ができると考えているなどの答弁がありました。質疑終了後採決を行い、全会一致で可決すべきものと決定しました。

林活議連植樹

森林・林業・林産業活性化推進名寄市議会議員連盟では、5月22日に健康の森に桜の苗木5本の植樹を行いました。昨年、エゾヤマザクラ5本を苗木植樹し、今年4本の桜の木に花🌸がきれいに咲き順調に生育していることに喜びを感じました。今回、植樹した桜を合わせ10本の桜の木に来年の春は花🌸が満開に開花することを願い作業を終えました。



北の森づくり専門学院で人材確保を願いながら作業に汗を流しました

政務活動費の概要について報告します。

政務活動費とは

◇政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派などに対して交付されています。【交付額は議員1人当たり、月額10,000円です。】

令和3年度 名寄市議会各会派などの政務活動費概要報告

単位：円

区分	市政クラブ	市民ネット	公明	日本共産党	合計	
当初交付額	1,200,000	720,000	120,000	120,000	2,160,000	
支出	調査研究費					
	研修費	254,288		25,748	280,036	
	広報費			3,270	3,270	
	広聴費					
	要望・陳情活動費					
	会議費					
	資料作成費		15,889		15,889	
	資料購入費	12,540			14,430	26,970
	人件費					
	事務所費					
支出合計	266,828	15,889	0	43,448	326,165	
未執行額（返還額）	933,172	704,111	120,000	76,552	1,833,835	
令和3年度交付額	266,828	15,889	0	43,448	326,165	

政務活動報告

市民ネット

視察については、道内の新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、感染防止の観点から中止としました。今年度は、名寄市内においても新型コロナウイルス感染症状況が予断を許さず感染予防対策を最優先する中、インクカードリッジ（4色3箱）を購入し議会活動に関する資料作成を行いました。

政務活動報告

市政クラブ

視察については、道内の新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、感染防止の観点から中止としました。今年度は、「月間ガバナンス」の購入により、先進事例の情報収集を行い、また、オンラインでの講習を受講し、個々の資質向上に努めました。

政務活動報告

日本共産党

新型コロナウイルス感染症拡大の収束が見えず、活動にも制約がかかることが多いため、オンラインでの研修会に参加することができました。また、議会活動の報告として「通信」の発行、資料を購入しました。

日台友好親善議員連盟設立

名寄市と台湾との交流を促進するとともに、さらなる相互理解と友好親善を深めることを目指し（規約）、名寄市議会日台友好親善議員連盟設立総会が3月17日開かれ、有志による世話人会で準備が進められ、今回全議員18名の賛同により設立しました。総会では規約、役員、台湾への理解を深める活動などの事業計画を確認しました。

総務文教常任委員会視察報告

広島県 《広島市》
山口県 《岩国市・周南市》
福岡県 《朝倉市》



地域の実態をしっかりとらえた公共交通の運営施策に、名寄市を想定して研修を深めました。(周南市)

4月25日に広島市の「住民参加による公共交通の取り組みについて」を学びました。広島市では、公共交通サービスが行き届いていない地域において、地域コミュニティが主体となり運行会社と協定を結び運行する乗合タクシーを導入。財政支援は、地域が主体の事業運行補助金交付要

領が制定され、内容は経常経費の削減と売上、地域の主体性を高めるために地域に一定の負担を求め、持続可能な公共交通になるような制度でした。地域コミュニティ活性化協議会が主体となり運行する仕組みに、委員全員が共感を覚えました。

午後は広島県庁の広島版「学びの改革」アクションプランについて学びました。教育の現状は、「学び続ける力」に大きな課題を抱え、「学び続ける力」を育成するため広島版「学びの改革」アクションプランを策定し、広島叡智学園が誕生しました。学びを通じて平和な社会づくりを実践し、地域や世界の「よりよい未来」を創造できるリーダーを育成し、地域の協力で成り立つ学校を目指していました。名寄市においても新高校像についての議論も終盤を迎えているが、視察を通して「地域との連携」の重要な視点と感じました。



バリアフリー対応・震災機能・環境対応・省エネ対策を研修 (岩国市)

4月26日岩国市の「市庁舎建設のコンセプトについて」を学びました。旧庁舎は、経年劣化や芸予地震で耐震性能の低下が認められ市民サービスへの著しい低下が課題でした。コンセプトは、市民の皆様に開かれた施設にすることを基本方針として、市政への参加交流を促す情報提供の場、住民のコミュニケーションの場、地域の活力づくりの場と来庁者に開放的な印象を与えられる開放スペース設計、バリアフリー対応・震災機能・環境と省エネ対策を進める中で、一番の問題は財源の確保でした。

午後から周南市では、「鹿野地域等乗合タクシーについて」

「を学びました。地方バス路線維持対策事業による路線バスの補助で、市民生活の足の確保に取り組む中、過疎化や車社会の進展により路線バスの乗車は減り、補助金額は年々増加していることから、不採算路線を廃止して小学校単位で組織するコミュニティ団体が委託運行を行い、車両や保険は市が提供し、2種免許がない運転手は、国土交通省の講習会を受けるなどの特徴的な取り組みが参考になりました。

4月27日に朝倉市では「スクールバス混乗化の取り組みについて」を学びました。登下校時間を除く時間帯に、市が運営するスクールバスを自家用有償運送で活用し、予約制で一般住民が混乗する事業でした。少子高齢化・人口減少社会・行政負担の課題は、名寄市にとっても共通するものがあり、今後の参考になりました。その際、最も重要視すべきは利用者の声であり、市民理解を十分に進め、持続可能な公共交通維持を目指すことが重要と感じました。

☆ き ぽ う ☆



すばらしい釣りの拠点

たか ぼし わたる
高橋 渉

2017年私は札幌から名寄に移住しました。

私は釣りが好きなのですが、学生の頃よりいつか気に入った川の近くで自給的な暮らしをしたいと考えておりました。

名寄周辺には、たくさんの川や湖があり、少し足を延ばせばオホーツクや日本海にも行くことができます。移住の決め手となったのは、このフィールドへのアクセスの良さです。

こちらに来て実感したことです。野菜や果物がとても美味しく、四季のメリハリがすごくあってとても好きです。特に冬の寒さは厳しいですが、とても美しいと思います。

現在、智恵文で住宅を兼ねたゲストハウスを自分の手で建てており、今年中の完成を目指しています。ゆっくり滞在して道北の釣りや自然を楽しむことができる宿にしたいと思います。



私 の 一 票

うめ むら すみお
梅村 スミエ

今83歳「兵隊さんの父ちゃんが無事でありますように」と願った幼い日、段々畑と田んぼ、リンゴ畑が広がる故郷にも次々と悲しい知らせがあった。

やがて終戦。国防服にゲートル姿の父が乾パンの詰まったリュックを背に復員。嬉しかった！「父ちゃんおかえり」の言葉を何度も繰り返し練習したのに恥ずかしくて言えなかった。翌年小学入学の朝「お前のこの姿、あと一秒逃げ遅れていたら見られなかったな。助かった命にアリガトウ」と言った父。以後戦場のことは語る事がなかった。

戦後婦人（女子）に与えられた選挙権を大切に、選挙の都度文字が書けない祖母に教え、リヤカーに乗せて投票所に行った父。今コロナ・ウクライナの悲劇、沖縄本土復帰50年の現状報道に目をそむけてしまいそうな弱い自分です。

けれど大好きな父ちゃんに「83歳になりました。与えられた大切な一票を一度も捨てていません」と、伝えたい。

表紙の写真是

4月24日に行われた

「名寄市青少年少女オーケストラ 第5回記念定期演奏会」

平成28年12月7日に誕生した日本最北の「青少年少女オーケストラ」です。

バイオリン体験教室を重ね団員を募り、現在小中学生約15名が在籍しています。第6回記念定期演奏会（令和5年2月26日予定）に向けて練習に励んでいます。

取材しました。4月18日、名寄市で開かれた北海道市議会議長会道北支部議長会を取材。道北7市の議長・副議長が集い、議長会事務局長会議の開催について、議員研修などについて確認。休憩時、旭川市議長、稚内市議長にインタビュー（写真）。



取材しました

編集後記

ネット犯罪に巻き込まれないように注意しているつもりでしたが、先日メールチェックをした際に、身に覚えのないカード決済のメールが届いていることに気が付きました▼調べたところ、勝手に私のアカウントからログインされて、千円ほど（ドルでの決済）の商品が購入され、シカゴの誰か宛てに配送されるようになっていました▼不正決済の手続きを取り、カード会社から返金処理がされ、難を逃れることが出来ました▼少額だと気付きにくいので、一度決済出来れば、次は高額な不正利用をされたはずです▼ショッピングサイトでは定期的にパスワードを変更するなど、自衛が大事だと改めて反省しました▼クレジットカードも念の為再発行して頂き、ひと安心▼パスワードの使いまわしをしないなど、いま一度、安全なネット利用をするようお勧めします。

(五)

